

南翔

秋田県立秋田南高等学校
同窓会会報

「南翔」第四十四号

題字揮毫

第十一代校長

松本 健 先生



優勝の喜びに大きく手を挙げる齋藤羽純選手 (秋田魁新報社提供)

秋季岡山国体にて 運動部初の優勝の偉業!!

三段跳び少年女子
齋藤羽純選手

飛躍の年に

秋田南高等学校 教頭 五十嵐 隆文



三十数年ぶりの豪雪となった今年の冬も終わりに近づき、春の訪れとともに、また新たな生活が始まろうとしております。

同窓生の皆様方には、母校に対する愛情と熱心な期待を持って、いつも本校を応援してくださり、心より感謝申し上げます。

本校の平成17年度を振り返ると、菅田憲彦校長のもとで、学校に一層の地力がつくと共に、存在感や発信性が大いに高まり、50周年に向けて大きな一歩を踏み出した年であったと思います。

進学の面では、「一人一人の進路志望の達成」のために、生徒、職員が一丸となって、取り組んできました。

先日行われたセンター試験は本校生283名が受験しました。今年のセンター試験は英語のリスニングが導入され、受験科目の最も多い生徒は10科目にもなり、2日間とも夕方6時過ぎまでかかる過酷な試験であり、学力に加えて、体力と気力が要求されるものでした。本校生はよく健闘し、昨年に比べ大幅に得点率は上がりました。現在、生徒達は国公立大学2次試験や私大入試に向けて、先生方の指導や支援を受けながら、勉強強をしております。この努力が報われる日が来ることを切に願っております。

部活動の面でも大きな伸長と、今後につな

がる期待が生まれた年でした。運動部では5つの部がインターハイ出場を果たしたことに加え、国体少年女子A三段跳びでの優勝はまさに圧巻でした。文化部でも吹奏楽部を始め、4つの部が全国大会に出場し、本校の名を大いに高めてくれました。徐々に力をつけてきている野球部にも期待しております。

SELHは2年目を迎え、9月には全県公開研究会を開催しました。本校のSELH事業は研究の進展においても、研究指定クラスの生徒の英語力においても、極めて順調に推移しております。研究課題の「共感的相互理解を目指したコミュニケーション能力」は異文化コミュニケーションに関して、論理や自己主張にのみ頼るのではなく、情緒的要素の大切さを意識させようとするものであり、将来の国際人の育成につながる研究です。

SELH事業と密接な関連をもって始まった韓国群山女子高等学校との交流も2年が経過し、信頼関係は一層深まりました。日本と韓国の間には、歴史認識に端を発する多くの課題があり、両国の関係は時に悪化するものもありますが、本校と群山女子高等学校はお互いの信頼関係に基づき、生徒交流、職員交流を通して、次代の新しい日韓関係に貢献したいと考えております。

今年度は同窓会の40周年記念事業があり、どの事業も同窓生の熱意と素晴らしい協力体制により大成功を収めました。

平成17年度は本校にとっても、同窓会にとっても、次の段階に向けての飛躍の年であったと思います。

母校だより

部活動の主な結果

運動部活動

国体(岡山県)

陸上部

少年少女A三段跳び

優勝(齋藤羽純)

剣道部

初戦敗退

アーチエリート部

予選敗退

水泳部

予選敗退

東北高校新人水泳大会

水泳部

女子 総合 3位

400mリレー 2位

400m個人メドレー 2位(打川)

100m背泳ぎ 2位(小柳)

全県新人戦

アーチエリート部

男子 団体 優勝

男子 個人 優勝(渡部)

バトミントン部

男子 団体 3位

女子 団体 3位

文化部活動

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール

県大会 金賞

東北大会 金賞

全国大会 銅賞

文芸部

全県高校文芸作品

コンクール 出場

全国高等学校文芸コンクール

文芸部誌部門

優良賞「岬43号」

小説部門 優良賞(菊池)

その他教育活動

○高校生の主張コンクール

県大会 最優秀賞(佐藤)

全国大会

日本国際連合協会会長賞

(佐藤)

(ニューヨーク国連本部視察

派遣4名に選ばれる)

○修学旅行

自文化理解と異文化理解

10月に行われた修学旅行は、

普通科が京都・大阪・奈良の

関西方面、英語科がカナダの

バンクーバーを目的地として

行われた。天候にも恵まれ、

それぞれ自文化と異文化を理

解する絶好の機会となった。



ドイツからの留学生であるマヌエル君は、日本の文化をより理解するために、普通科2年C組とともに関西へと向かった。「いろいろなお寺をまわったり、おもしろい話を聞いたりしながら、楽しみつづ日本の文化を学ぶことが出来てうれしかった」との感想でした。

一方、8時間30分の長旅でカナダを訪れた英語科は、4泊5日のホームステイをメインとして、高校訪問など充実した研修が出来た。バンクーバーにはヨーロッパ系、アジア系アフリカ系と実に多彩な人種や民族の人が違和感なく暮らしていて、異文化理解と共存を肌で感じることでできた意義ある旅であった。修学旅行の思い出を胸に秋田での生活が再びはじまった。今後の生活や人生に生かせる何かをつかんで来られたと思う。



株式会社サンセー・インター

ナショナル・テクノロジ

代表取締役

三浦 良晴

(第5期生F組)



昨年10月13日、筆者は同期生の三浦良晴氏から、新工場の竣工式に招かれ、あずさ9号“で初めて松本市に到着した。

(株)サンセー・インターナショナル・テクノロジ(以下

[S.I.]は平成六年五月に(株)サンセーとして創業した。翌

年四月には(株)サンセーテクノ

カルと改め、ロボット・サー

ボ・PLCの応用制御、超精

密位置決め、画像処置などの

技術を集積して、主に液晶パ

ネル。

【新しい時代の新しい保険…損害保険、生命保険】

株式会社損害保険ジャパン

清水総合保険企画

清水 毅彦 19期D組卒

〒010-0822

秋田市添川字境内川原96-31

TEL 018-884-7570 (FAX兼)

E-mail takehiko@ag.sompo-japan.co.jp



日本エアサービス株式会社

国土交通大臣登録旅行業第644号・日本旅行業協会会員

所長 小笠原 和 則

19期E組卒

秋田営業所

秋田市山王二丁目1-60アイデックスビル

TEL 823-6000 FAX 823-6100

本社(東京)：(03)3496-7711代



ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成

株式会社 エイチ・アイ・ティ
Human Interface Technology

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒

システム部課長 安部 雅彦 21期D組卒

秋田市仁井田新田3-13-9

TEL 018-892-6500

FAX 018-892-6509



ネルの製造工程における搬送装置（ローダー／アンローダー）の設計・開発・販売を手掛けてきた会社である。液晶パネルの製造が盛んな台湾市場では、Sti製の搬送装置は、トップシェアの実績を誇っており、昨年は台北市の支店のほかに、上海にも事務所を開設し、よりグローバルな活動を行っている。

松本市安曇野市の工業団地に竣工した工場に一步入って息を呑んだ。工場の吹き抜け構造のエントランスホールはまるでホテルのようで、壁には抽象画が、ホール中央にはピアノが座っている。

Stiはメセナ活動の一環として「良き企業市民を目指し、地域社会と調和し、地域の文化活動に積極的に貢献しよう」との理念を掲げているのだ。

会社のうたい文句としては聞いた事があるが、この規模の企業でそれを実現している事実に驚いた。このホールは「Sti Azumino Square」と名づけられ、広く地域の音楽・展示などの文化活動に供され、ホール入り口には長野松本の清らかな水が天井からガラスを伝って静かに流れ落ちている。

ホールの脇には、「根岸芳郎美術館」が設けられている。根岸氏は地元を本拠地として活動している著名な抽象画家である。

さらに二階には工場が休みの日でも営業している「レストラン」がある。全席テーブルスタイルで実におしゃれなレストランである。夜は地域の皆様の「居酒屋」として暖かな安らぎの「食」と「空間」を提供している。

ホール奥が事務・設計棟、さらに奥が工場となっている。工場は高さ11m・幅40m・奥行き60mと巨大な空間で、精密搬送機器の組み立て工場となっている。

Stiの創業者であり代表取締役を務める三浦良晴氏は、学生時代は知る人ぞ知る「アイビリーガー」として注目を

集めたものの、物腰は柔らかくどちらかというと目立たない生徒であった。竣工式を翌日に控えた前夜、久し振りにゆっくり会社の将来の夢などを語り合った。三浦氏は「将来は生まれ育った秋田にも事務所を設けるなどの貢献をしたい。その折には、自分たちの在学当時よりもさらに優秀な南高校の出身者を採用したい」と。静かな口調で、熱



く将来を見つめていた。

翌日の竣工式は晴天であった。遠く南アルプスを望む安曇野の一角に紺碧の空の下で「文化の工場」が光り輝いていた。三浦君の益々の発展と健勝を祈りつつ松本を離れた。

5期E組
同窓会副会長
川合 俊昭

LPGガス、床暖房、冷暖房
住宅設備機器、メンテナンス、灯油



株式会社
オノプロックス

代表取締役 小野 隆 三 第3期F組卒
小野 隆 史 第29期I組卒

秋田市新屋扇町7-41
TEL (018) 828-2108
FAX (018) 828-2177

横町 カラオケスナック

for you

日頃のご愛顧誠にありがとうございます。当店は格安料金で安心してお楽しみいただけるお店です（カラオケ無料）O Bの皆様のご来店をお待ち致しております。

小 玉 章 子 7期H組卒

秋田市大町五丁目3-24 サンピアザ横町1F
TEL 8 6 6 - 6 4 6 6

永遠のきらめきを貴方に

■デザイン・リフォームのことならおまかせ下さい

篠田宝飾

<こしやる店> 篠田 照子(2・I)
この道四十余年 篠田 大祐(26・A)

営業:AM9:00~PM6:30 秋田市保戸野すわ町8-12
休日:日曜日 JJA-JA3級 ☎ (018) 823-8081

磨かれたセンスと技術でお応えします
・ご婚約リング・お嫁ぎのデザインでご予算に合わせで...
・宝石をオリジナルデザインにリフォームしない...そんな時!
・こわれたり、サイズに合わないもののリフォームetc

惜別の碑



渡部久夫先生を偲んで

秋田南高校野球部OB会副会長

13期 富樫 純一



平成17年8月14日、秋田南高等学校同窓会「南翔」設立40周年記念事業の一環として、「昔の授業」が開催されました。

今から30年ほど前にはバリバリの現役だった先生方を招き、母校の一室を借りて当時の授業を再現していただくというイベントでしたが、その講師の顔触れに渡部先生もいらしていました。

懐かしさも手伝ってか和気あいあいとした雰囲気の中、渡部先生は40分間にわたって物理の講義をされましたが、昔のままの姿に一瞬時が戻ったかのような錯覚に襲われたのは私だけではなかったと思います。

講義の後、控え室に戻られる先生に「髪が白くなったくらいで、昔と何も変わってねえな。」と声をかけると、目をギョロッとさせて「そうか。」と少しはにかんだようでした。「夜の祝賀会でゆっくり語るしべ。」と言ったところ、「実はちょっと体調を崩していて、酒を控えているところだ。またの機会に頼む。」「おやあ、それは残念だしな。へバ、次の機会に」と、その時は何とは無しにお別れました。しかし、私にとってそれが先生との最後の別れでありました。



「昔の授業」から一月あまりの9月22日、65歳という若さで渡部先生は永遠の眠りに就かれてしまいました。

私は13期生で野球部に在籍しておりましたが、監督が渡部先生で3年間指導していただきました。先生はその頃三十五、六歳でしたが、部員と一緒に走れば一番速く打撃練習では誰よりも遠くへ打つという、とてつもない馬力の持ち主でした。「先生、いったい何歳ですか。」と尋ねると、いつも「俺は巨人の王選手と同じ年だ。」といっていました。その王選手の年齢が分からず実際の先生の年齢はしばらく不明でした。

先生は元々はバスケットの名選手で野球の経験は少なかったのですが、野球にかけける情熱は人一倍強く、やるからには一生懸命やれと、失敗よりもやる気のいい行動を一番嫌う人でした。あの目で見られるのが怖くてそれこそ必死でやったものでした。

さて、今だから言える話ですが、当時サッカー部はまだ部ではなく、同好会として発足した頃の頃でした。練習もグラウンドのレフト側奥でしておりましたが、渡部先生は対抗意識丸出しで、バッティング練習が始まると一番に打席に立ち、レフト方向へバンバン打ってやるのです。選手が打っても届かないサッカーの練習場所まで飛ばすものだから、サッカーの連中はいつボールが当たるかとヒヤヒヤしっぱなしだったことでしょう。もちろん、外野手が声をかけ捕球しますから、

当たってけがをした人はいなかったのですが。

もう一つ ある日の練習後のグラウンドで、私を含め何人かが渡部先生に呼ばれました。何かかと思っていいたら先生はおもむろに物理の話始めたのです。「？」と思いました。よく考えればもうすぐ期末試験で呼ばれた面々は赤点常習者、次にある程度点を取らないとヤバイ連中だったのです。顔を見合わせていると、「いが、よく聞けよ。」

先生は直接の物理担当ではなかったのですが、「俺がヤマはってやる。」といくつかのポイントを話してくれたのです。

試験の結果、すばらしいヤマのおかげでどうにか皆赤点を免れることができましたが、あの時ほど真剣に物理の話を聞いたことはなかったと記憶しております。

秋南野球部の監督は7期(S45)から14期(S52)の途中まで務められました。が、夏の大会は私たち13期が最後でした。3回戦、対秋田高校での1安打完封負け、夕日の中でじっと腕組みをしたまま試合後のグラウンドを見つめる姿が印象に残っています。

その後も、20期(S58)から25期(S63)まで秋南野球部の部長をされるなど野球関係ではご活躍されておりました。たまに会えばやはり当時の話に花が咲き、最後は南高校が甲子園に行くときは当時の連中みんなで行こうと気炎を上げていたものでした。甲子園で校歌を歌うのはそう遠くないと言う予感がしていた矢先の計報に、夢が叶わぬ事となってしまったのが残念でなりません。生前の渡部先生を偲びつつ、ひたすらご冥福をお祈り申し上げます。

OA機器・事務用品・書道用品

株式会社 **クラヤ**

小玉 哲也 26期E組卒

秋田市山王新町4-5

TEL 018-863-6001(代)

E-mail kuraya@seagreen.ocn.ne.jp



快速リフォーム

株式会社 **村上商店**

＜許可内容＞建築一式工事業・内装仕上工事業

代表取締役

村上 直樹 11期D組卒

☎ 0120-272-178

〒010-0921 秋田市大町6丁目5-14

TEL 018-823-2178 FAX 018-823-2990



慶弔スタンド花・花環・ブーケ・アレンジメント

土崎佐藤生花店

佐藤 恒雄 3期C組卒

秋田市土崎港中央7-2-14

(旧相染町) バス停市営カス前

☎ 0120-45-0916(代)

FAX 846-9699

一期の会

「本掛還りの宴」

～一期会が還暦・恩師の
長寿を祝う会～

一期会会長 田口 寛

「還暦」この二文字を意識したのは、つい最近のことである。と言うのは、度々会って一杯やる同期仲間の他愛ない話の中「俺ガタ、来年還暦になるドゴダナア」ふと一人が呟いた。触れたくない。触れたくないこの二文字……。でもやっぱり避けて通れない。「へば、一人でも多く集め還暦の道サ引っ張り込めバ寂し



グネガラ一期会ヤルべ」。こうして1月7日(土曜日)八郎潟ハイッにて、開催したのが「本掛還り(ほんけがえり)の宴」である。

一期生70名弱の還暦、恩師へは健康長寿の御祝いは厳粛のうち無事修了しました。

四時からの懇親会は石山博茂君の司会、中沢一男先生の乾杯発声ではじまり、当日まで伏せていたが「恩師の長寿を祝う会」としても冠したので、諸先生もご機嫌良くそれぞれ近況報告等をされた。その後、宴も最高潮に盛り上がり、予定していたクラス毎による参加者スピーチ時間を省略してもなお足りず、お膳を前に仕事や家族のこと、互いの健康の確認、近い将来の年

金のこと等々の語り合いもアツという間の四時間であった。北都銀行・菅原晟君の中締め、最後に県庁・仲谷廣君の音頭で声高らかに校歌斉唱し、お開きとなりました。新潟の酒販店・中村優子さんの差し入れの中から、越乃寒梅を御神酒として献上、雪中梅・八海山などの秋田では口にすることが希な銘酒が振る舞われ宴席でも大好評、通の連中には特に濁酒に人気があったようでした。

田村宏、野口養吉、岡部敏の各先生からは会費参加やメッセージ参加、ドタキャン連中からの心遣い、母校教育振興会長や五期会から祝盛花と祝電、そして名簿作成と発送に五期・川合俊昭、鈴木力雄両氏が協力してくれた。ご紹介しながら感謝御礼申し上げます。

恩師、関係諸氏、同期世話役へ感謝御礼申し上げながら報告とします。

「還暦バンザイ」……。

詳細は南翔のホームページに写真入りで掲載しております。感想等を掲示板に記入していただいたら、ありがたいです。
(会報部)



○写真説明

最前列右から軽部先生、竹内一朔先生、宮本栄先生、加藤三夫先生、中沢先生、畑澤先生、三浦順治先生、佐藤悦郎先生、北条神主、田口会長。



同窓会名簿 第9号発刊へ

同窓会名簿が6年振りに発刊されることとなり現在準備が進められている。前号は平成12年秋に発刊されており、昨年が第9号の発刊の年にあつたが、昨年は同窓会設立40周年の記念事業が目白押しとなつたために、発刊を一年遅らせたもの。

今回の第9号制作に当たっては、個人情報取り扱いが慎重に行われる。従来は往復はがきにより基礎調査をさせていただいたが、今回から往復はがきは目隠しシールが添付された物が採用される。

本年は同窓会のホームページも刷新されることから、同窓会としては今春の総会までに「同窓会個人情報保護規定」を新たに明文化し、会員の個人情報保護に当たっていききたい。また従来通り会員以外は一切販売はしない。同窓会名簿は各種イベントや同窓会・同級会の開催。支部・クラブOBの活動にはなくてはならないものである。さらには部活動が全国レベルで活躍している昨今、2万人になろうとする同窓生からの支援をいただく折りなど、必要欠くべからざるものとなっている。

このように同窓会と会員をつなぐ貴重な接点となつて、名簿の作成・発刊にあたり会員皆様方のご理解とご協力を賜りたい。具体的には間もなく

く発送される調査用のはがき、また電話での調査・問い合わせなどにご協力をいただきたい。また、各支部・クラブOBの皆様には、会員の最新情報などについての情報提供をお願いしたい。さらに発行にあつては、常任理事、期の代表である理事の皆様には、事のほかご尽力をいただきたく、紙面をお借りしてお願いしたい。

発刊予定は本年10月、販売価格は一部五、〇〇〇円の予定。

問い合わせ・異動の連絡などは次の宛先まで。

〒〇一〇一四二七
秋田市仁井田新田3-13-9
㈱エイチ・アイ・ティ
川合 俊昭(5期・E組)
TEL 〇一八八九二一六五〇〇
FAX 〇一八八九二一六五〇九
Mail: kawai@aiti.co.jp

会費納入のお願い

同窓会は会員の皆様からの会費で運営されております。皆様から納付された会費は総会の決議を経て同窓会及び母校発展のため、有効に運用されております。

同窓会活動の趣旨をご理解いただきまして、同封の納入用紙にて年額二千円の納付にご協力下さいますようお願いいたします。

他にも同窓会報の必要な方がおられましたら、同窓会事務局に連絡していただければ、お送りします。

南翔ホームページリニューアルについて

<http://www.akitamiami.net>

1998年より、運営しておりました秋田県立秋田南高等学校同窓会のホームページを3月1日付けで、リニューアルしてオープンいたしました。

コンテンツには、同窓会関連、母校関連の最新のニュースのほか現在会費納入者にも配布しております同窓会機関誌「南翔」のPDF版を掲載することとしております。同窓生よりの面白いニュースや、活躍するOBなども掲載していきますので、会員の方々よりの積極的な投稿をお願いします。

南翔ホームページ管理委員会 委員長 保坂タツ子(2期) 副委員長 清水 毅彦(19期)
連絡先 清水 毅彦 takehiko@ag.sompo-japan.co.jp



編集後記にかえて(雑感)

「秋田のいいところは？」初めてお会いする県外の方に尋ねられて、「四季の移り変わりがはつきりしているところ」と答えるようにしている。豊かな自然環境がある。春夏秋冬、その移ろいの中で心の有様や気持ちの持ち方も変わる。そんなめり張りのある暮らしが、今冬はそんな悠長なことをいっている場合ではなかった。あの四八豪雪以来の厳しい冬になった。当時は高ーい。交通機関がマヒし、不謹慎にも休校の報に一喜一憂した。春休みにグラウンドの水をつるはしで割り、通称「ねご」で運んだ。冬が厳しい分、春を待つ気持ちたちが日に日に強くなる。新芽たちも雪の下で、首を長くしているに違いない。

ところで、わが母校の新芽たちの活躍がすばらしい。中でも陸上部の齋藤さんは、昨秋の岡山国体少年女子三段跳びで、創立以来、運動部初の全国大会優勝を成し遂げた。大きな感動と勇気を得て、ホッブ・ステップ・ジャンプ！とあやかりたいものです。

12期 渡辺

同窓会事務局
秋田市仁井田緑町四の一
秋田県立秋田南高校内
〒〇一〇一四二七
電話 〇一八八三三七四三

各種印刷・ホームページ作成
電子組版・電子文書処理

株式会社 **くまがい印刷**

代表取締役 熊谷正司(4・A)

秋田市中通六丁目4-21
☎018(833)2220(代) FAX(833)6732

～秋田駅とともに100余年～

株式会社 **関根屋**

代表取締役 金子達也
25期 J 組卒

秋田市東通一丁目1番26号
☎018-833-6461 FAX018-831-4062

人事・賃金・社内諸規程
労働・社会保険等の労務全般

**渡辺博人 社会保険
労務士事務所**

社会保険労務士 渡辺博人(12・F)

秋田市桜ガ丘二丁目4-9
TEL 018-831-5280
FAX 018-831-5287